

IPS-3008-8GP-96-V2

機能操作マニュアル

目次

概要	1
1.1 はじめに	1
1.2 特徴	1
2 ポートとインジケータ	2
2.1 フロントパネル	2
2.2 リアパネル	4
3 設置方法	6
3.1 準備	6
3.2 デスクトップマウント	6
3.3 GNDの接続.....	6
3.4 電源コードの接続.....	7
3.5 イーサネットポートの接続.....	9
3.6 PoEポートの接続.....	9

1 概要

1.1 はじめに

本装置はレイヤー2の商用スイッチです。高性能スイッチングエンジンと大容量バッファメモリを搭載し、スムーズなビデオストリーム伝送を実現します。フルメタルでファンレス設計の本装置は、シェル表面の放熱性に優れ、-10℃(+14°F)から+55℃(+131°F)までの環境で動作します。DIP設計により、さまざまなシナリオに対応する多様な動作モードを提供できます。また、本装置は消費電力管理をサポートしており、端末装置の消費電力の変動に適応して安定した動作を保証します。本装置はアンマネージドスイッチであるため、ウェブページによる設定が不要で、設置が簡素化されます。

本装置は、家庭やオフィス、サーバーファーム、小規模モールなど、さまざまなシーンで使用できます。

1.2 特徴

- 4/8× 100/1000 Mbpsイーサネットポート。
- アップリンクコンボポートには、電気ポートと光ポートが含まれます。
- 全ポートがIEEE802.3afおよびIEEE802.3atに対応。赤いポートはHi-PoEとIEEE802.3btもサポートします。
- 250m長距離PoE伝送、DIPスイッチで有効化可能。



Extendモードでは、PoEポートの伝送距離は最大250mですが、伝送速度は10Mbpsに低下します。

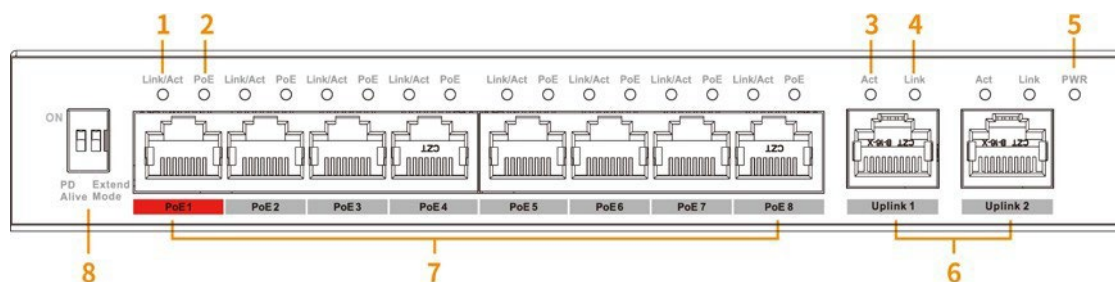
接続機器の消費電力やケーブルの種類や状態によって異なる場合があります。

- PoEウォッチドッグ。
- 消費電力管理
- ファンレス
- デスクトップマウントとウォールマウントに対応

2 ポートとインジケータ

2.1 フロントパネル

図 2-1 フロントパネル



8ポートアンマネージドデスクトップスイッチ前面パネルにある全ポートとインジケータです。

表2-1 フロントパネルの説明

No.	説明
1	シングルポート接続またはデータ転送ステータスインジケータ（Link/Act）。 ● オン：デバイスに接続されています。 ● オフ：デバイスに接続されていません。 ● 点滅：データ転送中。
2	PoE ポートステータスインジケータ。 ● オン：PoE で給電されています。 ● オフ：PoE給電されていません。
3	シングルポートデータ転送ステータスインジケータ（Act）。 ● 点滅します：データ転送中。 ● 消灯：データ転送が行われていません。
4	シングルポート接続ステータスインジケータ（Link）。 ● オン：デバイスに接続されています。 ● オフ：デバイスに接続されていません。
5	電源インジケータ。 ● オン：電源オン。 ● オフ：電源オフ。
6	10/100 Mbps または 10/100/1000 Mbps 自己適応型アップリンクポート。
7	10/100 Mbpsまたは10/100/1000 Mbps自己適応型イーサネットポート。

No.	説明
8	PDディップスイッチ。 ● PDアライブ：端末デバイスのクラッシュが検出された場合、電源を落として端末デバイスを再起動します。 ● エクステンドモード：最大伝送距離を250mに延長しますが、平均伝送速度は10Mbpsに低下します。  Extend Modeでは、PoEポートの伝送距離は最大250mですが、伝送速度は10Mbpsに低下します。実際の伝送距離は、接続機器の消費電力やケーブルの種類・状態により異なる場合があります。
伝送速度 (図には含まれていません)	アップリンクポートの速度表示。 ● オン：100 Mbps/1000 Mbps。 ● オフ：10 Mbps。

2.2 リアパネル

以下の図は参考用であり、実際の製品とは異なる場合があります。

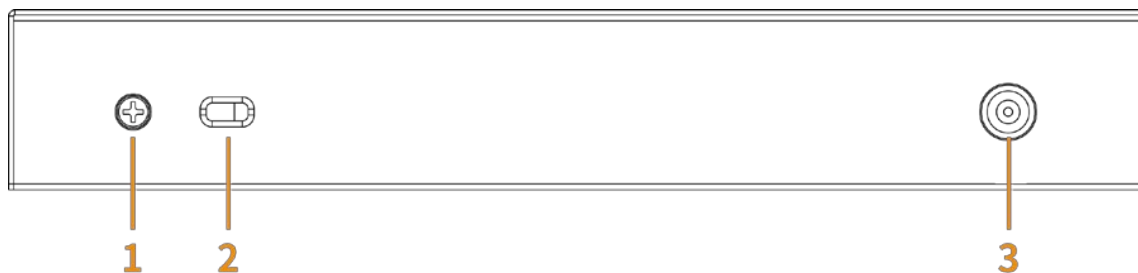


図2-2 背面パネル

番号	説明
1	アース端子。
2	ロックホール。スイッチをロックするために使用します。
3	電源ポート、DC48～57Vをサポート。

3 設置方法

3.1 準備

- 適切な設置方法を選択してください。
- 本装置は平らな場所に設置してください。
- 放熱と換気のために、本装置の周囲に 10cm 程度の空間を空けてください。

3.2 デスクトップマウント

本装置はデスクトップマウントに対応しています。堅固で平らなデスクトップに直接設置できます。

3.3 GNDの接続



GNDケーブルは同梱されていません。必要に応じて購入してください。

本装置を接地することで、雷や干渉から保護することができます。GNDの接続手順は次のとおりです：

ステップ1 本機からアースネジを外し、アースケーブルのOT端子の丸穴にアースネジを通して ください。

アースネジを十字ドライバーで時計方向に回し、アースケーブルのOT端子を固定してください。

ステップ2 アースケーブルのもう一方を②の図のようにペンチで丸く巻きます。

ステップ3 アースケーブルのもう一端をアースバーに接続し、六角ナットをスパナで時計回りに回してアースケーブルのもう一端をアース端子に固定する。

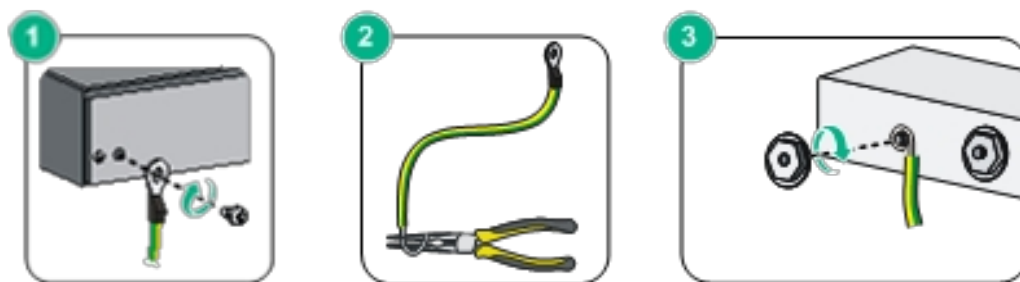


図4-1 GNDの接続

3.4 電源コードの接続

電源コードを接続する前に、本装置が確実に接地されていることを確認してください。

ステップ1 電源コードの一端を本装置の電源ジャックに接続します。

ステップ2 電源コードのもう一方の端を外部電源ソケットに接続します。

3.5 イーサネットポートの接続

イーサネットポートは、標準的な RJ-45 ポートです。自己適応機能により、自動的に全二重/半二重動作モードに設定することができます。ケーブルの MDI/MDI-X 自己認識機能をサポートしており、クロスオーバーケーブルまたはストレートスルーケーブルを使用して端末デバイスをネットワークデバイスに接続できます。

図4-4 イーサネットポートのピン番号

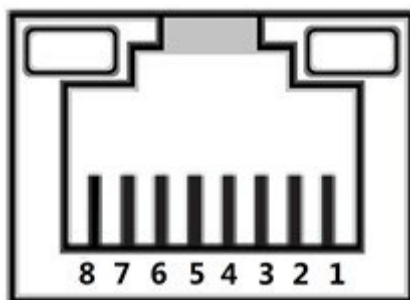
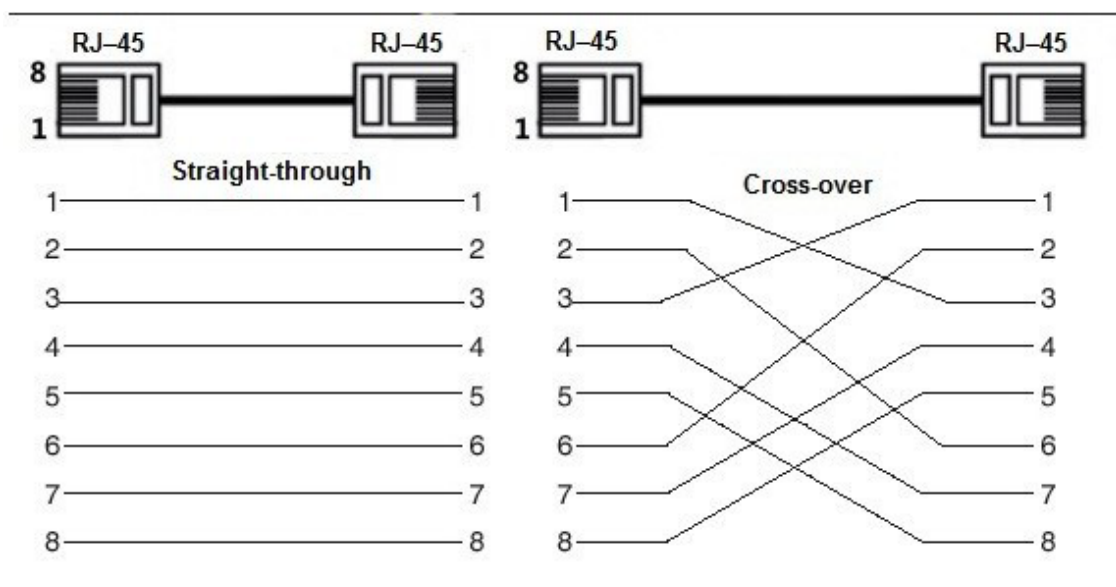


図4-5 ピンの説明



RJ-45：ケーブル接続は568B 規格（1-橙白、2-橙、3-緑白、4-青、5-青白、6-緑、7-茶白、8-茶）に準拠しています

3.6 PoEポートの接続

本装置のPoEイーサネットポートとデバイスのPoEイーサネットポートをネットワークケーブルで直接接続し、ネットワーク接続と電力供給を同期させることができます。Extend Modeが無効の場合、スイッチとデバイス間の最大距離は約100mです。